

JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)～(8)は必ず記入してください。(9)～(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1) 担当支部:	広島支部	(2) 記載者氏名:	野間 弘	会員番号:	12693	事務局整理記入欄	広島 - 095
分水嶺区分	W574小峰峠～W573小峰山	(3) 山行日:	2005年	7月	24日	(4) 天候	晴

(5) 参加者氏名および会員番号

サポート要員氏名および会員番号

吉村 千春	11549	野間 弘	12662					
吉村 寛	吉村家族	岩内 秀昭	11964					
杉本 陽二	マツダ山岳会							
佐々木弘磨	12693							
計			6名		計			名

(6) 山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:	W574小峰峠～w573小峰山を往復												
アプローチ:	林道揚が谷線(幕营地)～米山～鹿野～小峰峠 小峰峠～鹿野～米山～米山峠～六日市～松の木峠～広島												
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)～(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	小峰峠		131	48	13.4	34	18	55.3	721				
分水嶺到達点W574	小峰峠		131	48	13.4	34	18	55.3	721		8:40	B-1	(9),(10)
	県境稜線790m		131	48	20.3	34	18	48.5	790	9:00	9:10	B-1	(9),(10)
W573	小峰山		131	48	39.6	34	18	45.0	932	9:45	10:35	B-2	(9),(10)
	(この地点より引き返す)												
分水嶺離別点W574	小峰峠		131	48	13.4	34	18	55.3	721	11:10		B-2	(9),(10)
歩行終了点	小峰峠		131	48	13.4	34	18	55.3	721	11:10		B-2	(9),(10)
総歩行時間(休憩時間を除く):												1時間30分	

(7) 三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを 記入してください	点名	等級	方位	保存 状況	特記事項
W573	小峰山	3	真南	良好	

(8) 人工施設の現況および地形図との相違点

(9) 水および植生に関連した特記事項

小峯山山頂一帯には、ブナ林が少し残っているが、山麓一帯は山口県、島根県側共にヒノキ、スギの植林帯である。登行中、稜線の日当たりの良い所に美しいイワカガミの群生を見た。	

(10) その他の特記事項

分水嶺踏査ルートは土塁を構築した島根県と山口県の県境にある。北側は高津川水系の支流で小峰川。南側は錦川水系の支流で倉谷川である。今回はW574小峰峠からW573小峰山まで踏査したが、次回にはW572高岳分岐まで足を伸ばしたい。厳しい藪漕ぎが予想される。571m山峠から六日市へ帰路中、蓼野川源流のシャクナゲの里「捨河内」の集落にて、壇ノ浦の合戦に敗れた平家一門の松前族の話しを土地の長老に聞く。平家岳の奥深く住んだ平家屋敷跡から、昭和15年に島根県六日市「捨河内」に移り住む?立派な「松前大膳太夫命之碑」とある墓所があり、義経ドラマを思いはせながら参拝した。	

(11) 写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明:	W572A: 小峰山のブナとイワカガミ
	W573B: 小峰山直下のブナ